

【2024年7月・8月】ポプラ社一般書単行本刊行予定

※配本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

7月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	7月16日	182239	夏のピルグリム	高山環	1700	四六並製	288	『夏のピルグリム』で第12回ポプラ社小説新人賞奨励賞を受賞。 『ふたりの余命余命一年の君と余命二年の僕』（宝島社文庫）でデビュー。	中学校には馴染めず、厳しい母親に叱られ家庭でも居場所がない。夏子は日々を無気力に過ごしていた。心の支えは、妹のチイちゃんと共にお話を創ること、そしてチイちゃんの推しのアイドル・羽猫くんの動画を一緒に視聴すること。しかし夏子の様子を見かねた母親は、夏子が目を背けてきた「現実」を突き付けてくる。さらに同時期に羽猫くんが活動を休止して……。すべてを失った夏子は、一夏の巡礼の旅に出る。

6月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	8月5日	174616	常夏荘物語	伊吹有喜	1800	四六上製	384	三重県出身。中央大学法学部卒。2009年『風待ちのひと』でポプラ社小説大賞特別賞を受賞しデビュー。他の著書に『四十九日のレシビ』『ミッドナイト・バス』『カンパニー』『彼方の友へ』『なでし子物語』シリーズ、『雲を紡ぐ』『犬がいた季節』『娘が巣立つ朝』など多数。	遠州峰生の名家・遠藤家の邸宅として親まれた常夏荘。10歳の時にこの屋敷に引き取られた耀子は、寂しい境遇にあっても周囲の人々の優しさに支えられて子ども時代を生き抜いてきた。時を経て38歳になった耀子は、ある日、夫の龍治から突然離婚を切り出しされる。その思いもよらない理由に耀子は驚くが、それを機に自分にとって本当に大事な人が誰だったのか、思いを巡らし始める。伊吹有喜デビュー15周年記念作品。